

# コンクリートます補修用立管

コンクリートますの老朽化対策としての長寿命化のご提案

ふたの劣化

雨水・地下水の浸入

木の根の侵入

円形用

( $\phi$ 300、 $\phi$ 350、 $\phi$ 400、 $\phi$ 450、 $\phi$ 500)

角形用

( $\square$ 350、 $\square$ 360、 $\square$ 400、 $\square$ 450、 $\square$ 500)

現状のます補修工事でこんなことはありませんか？

- × 狭くて重機が入れない
- × 障害物(植栽など)があり掘れない

- × ますの入れ替えはコスト・工期がかかる
- × ますの部品が製造終了している
- × 住民と調整(排水制限など)がつかない

# 既設コンクリートますを活用し、手間暇かけずに

既設コンクリートますを撤去せず立上り部・ふたを更新・更生することで、コスト削減・工期短縮が図れます。

✓ ふたは用途・設置場所に応じて選択可能

- ✓ 1人分の作業スペースでOK
- ✓ 非開削・人力で施工可能
- ✓ 最小限の廃棄物で補修可能

✓ 排水を止めずに補修可能

補修前



補修用立管挿入



補修用立管仮固定



無収縮急結モルタル充填



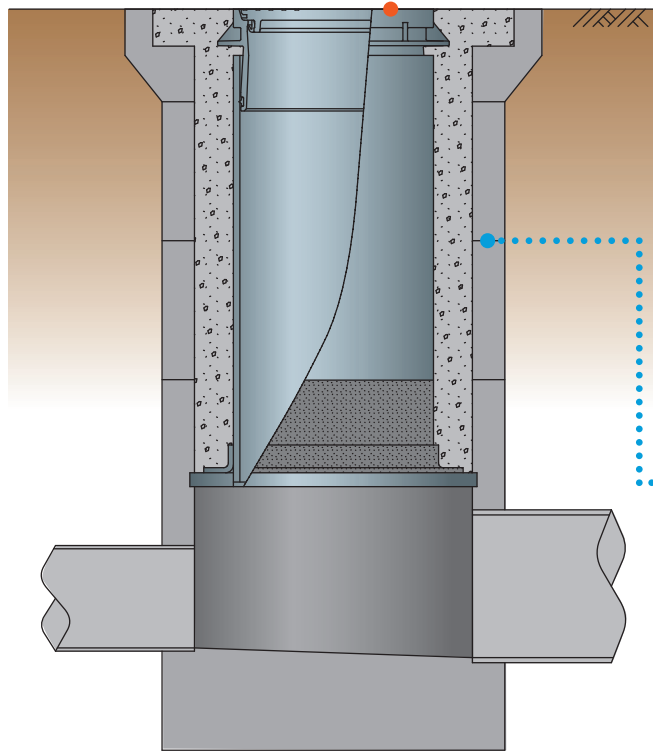
補修後



既設のコンクリートますに補修用立管を挿入し、隙間に無収縮急結モルタルを充填するだけで補修できます。



# 補修・保全!



## ①ふたの更新

ふたや枠の破損・固着、臭気漏れ、不明水、排水圧力対策など

### ふたの更新事例①(直接構造)

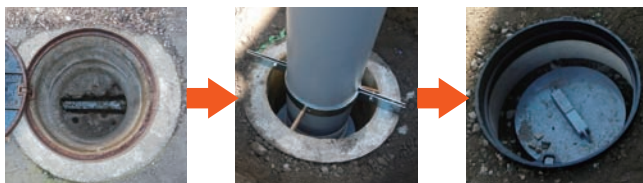


更新前

立管挿入～無収縮急結モルタル充填

更新後

### ふたの更新事例②(間接構造)



更新前

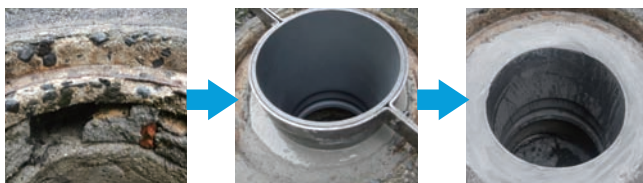
立管挿入～無収縮急結モルタル充填

更新後

## ②立上り部の更生

継目からの浸入水、木の根対策など

### 立上り部の更生事例



更新前

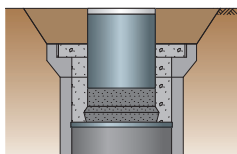
立管挿入～無収縮急結モルタル充填

更新後

こんな  
使い方も...

## ③ふたの嵩上げ

ます周辺地盤との段差解消



### ふたの嵩上げ事例

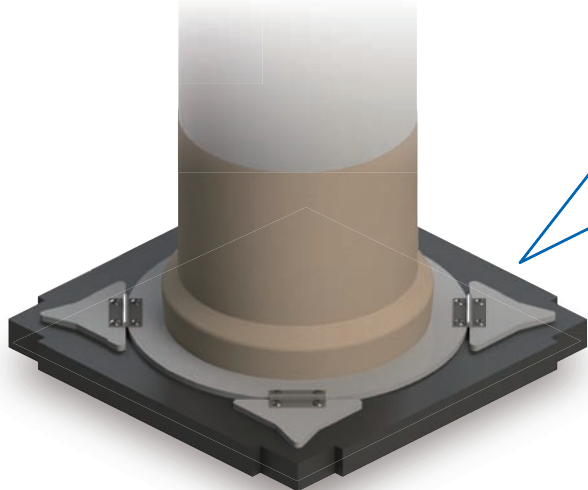


更新前

立管挿入～無収縮急結モルタル充填

更新後(埋め戻し前)

## 角形ます用新登場!



## 角部分は分割構造を採用



角部分を折りたたみながら挿入できるのでスムーズに挿入できます。

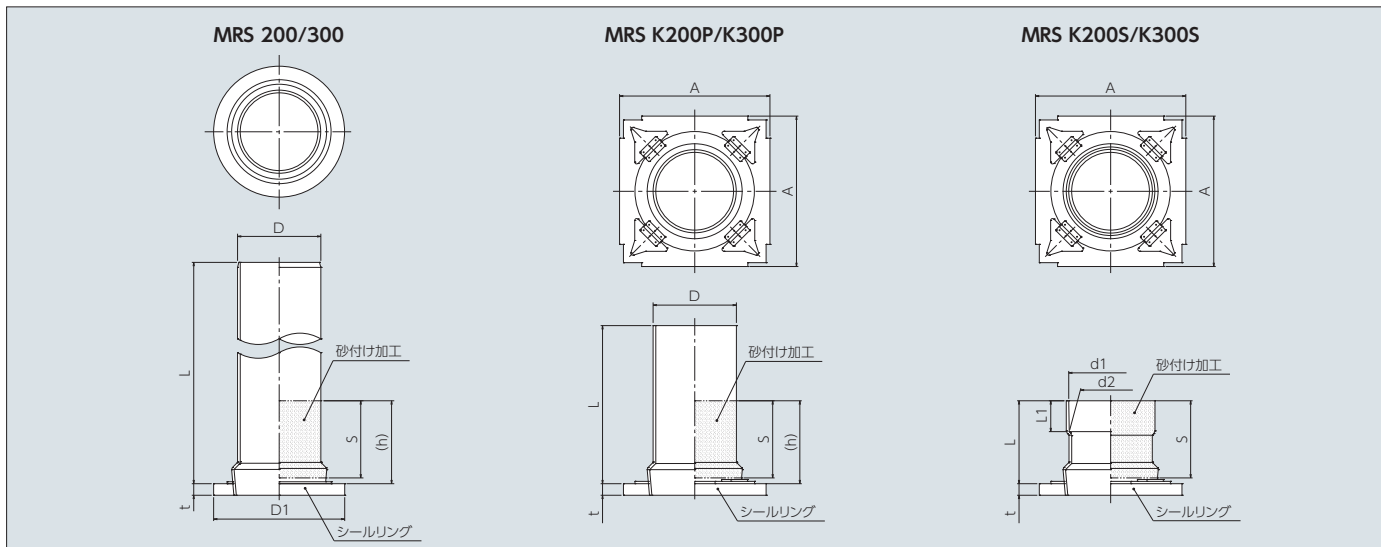


円形ふた仕様の角形コンクリートますに対しても補修が可能です。

■ 製品仕様

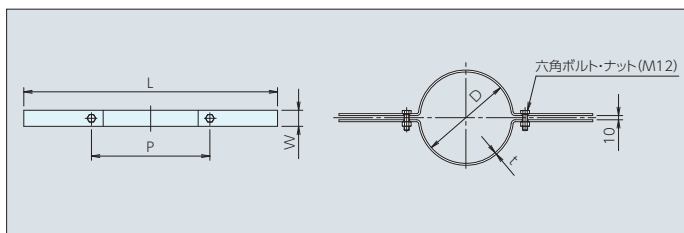
■ コンクリートます補修用立管

適用COます		略号・サイズ	立管		コード	価格	梱包	寸法 (単位:mm)									
形状	口径		形状	口径				L	D	D1	A	t	d1	d2	L1	(h)	S
円形ます	φ300	MRS200	差口	φ200	(300-CO)×0.4	5 245355-	1	25	400	216	340	-	30	-	-	215	200
					(300-CO)×0.8	5 245350-			840								
					(350-CO)×0.4	5 245356-			400								
	(350-CO)×0.8		5 245351-		840												
	(400-CO)×0.4		5 245357-		400												
	(400-CO)×0.8		5 245352-		840												
	φ350	MRS300	差口	φ300	(450-CO)×0.4	5 245358-		410	318	490	-	540	-	-	237	-	-
					(450-CO)×1.3	5 245353-		1310									
					(500-CO)×0.4	5 245359-		410									
					(500-CO)×1.3	5 245354-		1310									
角形ます	□350/360	MRS K200P	(350/360-CO)×0.4	差口	φ200	5 245360-	410	216	400	-	-	-	215	214.6	80	215	200
		MRS K200S	(350/360-CO)	受口	5 245361-	215	-	-					-	-	-	-	-
	□400	MRS K200P	(400-CO)×0.4	差口	φ200	5 245364-	410	216	440	-	-	-	217.4	214.6	80	215	200
		MRS K200S	(400-CO)	受口	5 245365-	215	-	-					-	-	-	-	-
	□450	MRS K300P	(450-CO)×0.4	差口	φ300	5 245366-	410	318	490	-	-	-	217.4	214.6	80	237	200
		MRS K300S	(450-CO)	受口	5 245367-	270	-	-					-	-	-	-	-
	□500	MRS K300P	(500-CO)×0.4	差口	φ300	5 245368-	410	318	540	-	-	-	319.8	316.2	100	237	200
		MRS K300S	(500-CO)	受口	5 245369-	270	-	-					-	-	-	-	-



■ 固定バンド

略号・サイズ	コード	適用立管口径	価格	梱包	寸法 (単位:mm)				
					D	L	W	t	P
KB200	5 245348-	φ200	-	6	216	600	38	4.5	280
KB300	5 245349-	φ300	-	3	318	700	50	6	390



■ 関連製品

■ ポリプロピレン製ます補修用立管

適用PPます口径	略号・サイズ	立管口径	コード	価格	梱包
φ300	(300-PP)×0.8	φ200	5 247913-	-	1
	(300-PP)×1.2		5 247915-		
φ350	(350-PP)×0.8		5 289952-		
	(350-PP)×1.2		5 289954-		



注意事項

◆設計上のご注意

- コンクリートます立上り部がズレや内面凹凸が大きき場合には、ご使用いただけないケースがあります。
- 補修用立管の挿入代は「コンクリートますの端面から300mm以上+塩ビ製ふたの厚み」かつ「流出管(流入管)の管頂から50mm以上」を満たす範囲で設定してください。
- 間接構造の場合はふたの厚みの加算は不要です。
- 製品性能低下の恐れがありますので、無収縮タイプ以外のモルタルは絶対に使用しないでください。
- 対応するふた枠・ます内寸は「ます口径±4mm」です。

◆輸送・保管上のご注意

- 高所からの落下、投げ投げ等による過度の衝撃を加えないでください。
- 補修用立管のシールリング部分に曲げなどの負荷がかからないようにしてください。
- 補修用立管は屋内で保管してください。やむを得ず屋外で保管する場合は、直射日光を避けるため熱気のこもらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- 製品同梱の施工手順書に従って施工してください。
- 補修用立管の砂付け加工部は切断しないでください。
- 補修用立管を無理に挿入してシールリングが割れたり、破れたりしないよう注意してください。挿入後はシールリングの端面が上向きになっていることを確認してください。
- 角形コンクリートますの場合、角部分の隙間が生じやすくなります。無収縮急結モルタル充填の前に角部分の隙間処理をしてください。
- 補修用立管は固定バンドなどで固定し、無収縮急結モルタルを充填してください。
- 最初に無収縮急結モルタルを100mm程度流し込み固めてください。残りの隙間は無収縮急結モルタルを一度に流し込み、100~200mmごとに流し込み、固めてください。



管材事業部

管材企画グループ 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル  
TEL(03)3502-1449 FAX(03)3502-1452

東京支店 TEL(03)3502-1488 FAX(186045)750-1602 広島支店 TEL(082)245-7100 FAX(082)245-7106  
大阪支店 TEL(06)6448-5125 FAX(06)6448-5193 札幌営業所 TEL(011)709-6011 FAX(011)709-6014  
名古屋支店 TEL(052)203-0378 FAX(052)231-2918 北陸営業所 TEL(0766)44-1565 FAX(0766)44-1598  
福岡支店 TEL(092)741-1412 FAX(092)712-2594 四国営業所 TEL(0877)46-5201 FAX(0877)46-5202  
仙台支店 TEL(022)291-5477 FAX(022)291-5479

お問い合わせは

管理コード  
**228600**  
製品コード

コード番号が8ケタになっています。

2010年1月より、今までのコード番号に管理コードが追加され、コード番号が8ケタになっています。

No.115103 22.03.XX.KW-1